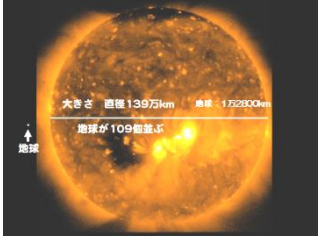
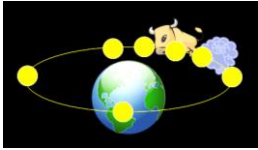
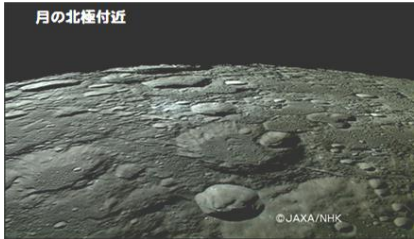


小学校6学年投映の流れ **月と太陽** 投映時間 約1時間

★事前アンケートは投映申請時に他の申請書と一緒に送付してください。 ※マークは学校で選択

投映内容	
<p>太陽の動き(南中まで) 日の出・南中</p> <p><b>太陽の様子</b></p> <p>太陽の動き(日没まで) 日の入り</p>	<p>投映日 東の方から昇る。(秋～冬は南寄り) 太陽は正午ごろ真南を通る時、高度が一番高くなることを確認。</p>  <p>太陽は球形、表面の黒点、 太陽の活動(フレアの様子)等</p> <p>西の方に沈む。(秋～冬は南寄り)</p> <p>★太陽のまとめ 太陽は東から出て、南の空を通り、西に沈む。 その表面は活発に活動している</p>
<p><b>月の満ち欠け</b></p> <p>月の動き</p> <p>&lt;4学年の復習&gt;</p> <p>&lt;発展的な学習&gt;</p> <p>※星の動き 東→南→西 北天 全天</p> <p><b>月の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形、月までの距離</li> <li>・VTR等</li> </ul>	<p>ボールと懐中電灯で月の満ち欠けのモデル実験</p> <p>投映日の月を確認した後、投映日に最も近い満月の動きを観察</p> <p>満月は太陽が西に沈もうとするころ、東の空低く見える。太陽と反対の位置にある。真夜中に南中。朝、西に沈む。</p> <p>日周を1日進め、月の位置が前日とは異なること、月が西に動きつつも、恒星の中を東に動いていることを確認。 地球のまわりを月がまわっていることを宇宙空間に出て確認する</p> <p>オリオン座やさそり座に注目し、位置と形を確認。 カシオペア座、北斗七星と北極星に注目し、 北天・全天の動きを観察。</p>  <p>月は球形、クレーターがある、 月の海がいろいろな形に見える 探査機「かぐや」や「アポロ」を はじめとする月の画像(VTR含む)を 見る。</p>  <p>★月のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽が位置する方向に月面が輝く(満ち欠け)</li> <li>・その表面はクレーター等に覆われている。</li> <li>・月は太陽や星と同じように、形は異なっても時間の経過とともに、東から南の空を通過して、西に動いていく。</li> </ul> <p>※星の動き 全天の星は天の北極を中心に反時計回りにまわっている。 星の位置関係は変化せず、1日たつとほぼ同じ位置に戻る。</p>
<p>季節の星空 宇宙の話題</p> <p>日の出</p> <p>質問コーナー</p>	<p>季節の星座やそのときに見える惑星の解説。 ※星座早見盤(全天版)を使って、星座を探す。 すばる望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡の画像などを見ながら、最近の宇宙の話題を知る。</p> <p>東から昇る。(秋～冬は南寄り)</p> <p>写真提供 PAONET 太陽 ひので国立天文台 月面 かぐや JAXA/JAXA</p>